

平成 27 年度 大学院生活機構研究科人間教育学専攻 修士論文題目一覧

○小学校音楽科における鑑賞教育の再構築	杉 田 恵 理
○幼児の遊びの充実とルールの生成・発展に関する一考察	高 橋 慶 子
○高等学校教科「福祉」を中心とした道德教育に関する研究	柚 木 康 代
○中国における小学校低学年の道德教育改善策に関する実証的研究 ー日本の小学校と比較してー	YANG XU

平成 27 年度 人間社会学部初等教育学科 卒業論文題目一覧

○ディズニー映画『ピノキオ』におけるキャラクター研究 ーランプウィックの存在意義ー	押 金 優 希
○個性を育てる教育に関する研究 ー小学校における特別の教科・道德との関連を中心としてー	赤 津 優
○児童に対する応用行動分析のアプローチ ー通常学級における支援についての実践的検討ー	芦 田 瑞 穂
○ICT を活用した効果的な算数科教育のあり方に関する研究	荒 川 奏 未
○算数教育における「社会で使える力」の指導に関する研究	市 川 未 羽
○幼児の言語発達について ー母子の関わり方の観点からー	市 村 優 香
○ハンス・クリスチャン・アンデルセンについての研究 ーアンデルセンとその作品に見る多様な魅力ー	今 井 あかり
○自己コントロールが難しい子どもの保育について	岩 本 那 月
○道德の時間における対話の在り方	宇佐美 裕 理
○児童の学習意欲と苦手意識の関連性とその克服のための指導 ー跳び箱運動を通してー	梅 田 美帆子
○トーベ・ヤンソンとムーミン ー長い間愛される理由ー	遠 藤 奈津子
○現代の子どもの習い事についての一考察 ー水泳指導についてー	大 嶋 彩 葉
○コラージュ絵本と技法 ーレオ＝レオニの作品を通してー	大 西 未 真
○基礎体力の向上につながる幼児期の運動遊びについて	大 場 ゆり子
○レッジョ・エミリアの幼児教育 ー人的環境と物的環境の重要性ー	岡 里 咲
○子どもにとって適切な援助とは ー子どもの自主性・自発性を伸ばすためにー	奥 山 裕 香
○現代日本の保育所における家庭への食育に関する考察 ー保育所児の保護者を対象とした食生活に関する聞き取り調査からー	加 藤 明 奏
○子どもにとって楽しくわかりやすい歴史教材の研究	河 内 美 緒
○子ども向けテレビ番組の研究 ー《ムジカ・ピッコリーノ》を中心に考えるー	川 邊 彩 子
○子供の自己肯定感と規範意識を高める効果的なほめ方	木 本 晴 奈
○幼稚園における国際化・多文化教育について ー保育者の在り方とはー	久保田 絢
○絵本のもつ音楽性とそれを生かす読み聞かせ	熊 澤 優 花
○障害のある子どもとおもちゃについて ーおもちゃの図書館での保護者との関わりを通してー	是 本 実 咲
○音楽活動における幼児の創造性と保育者の援助	後 上 麗 奈
○幼児期の好奇心の芽生えについて ー環境の要因からの考察ー	佐 藤 詩 織
○＜怖い絵本＞について ー子どもの絵本・大人の絵本ー	篠 塚 さゆみ
○絵本の「意義」「意味」についての考察 ー保育を通して絵本の必要性を考えるー	清 水 里 帆
○社会科における体験的学習の在り方について ー体験を学びに繋げるためにはー	新 保 沙 織
○食事場面における保育者の言葉掛けによる好き嫌いの改善	鈴 木 美和子
○親のストレスが子どもへの関わりに与える影響	高 野 里彩子
○乳幼児期の早期教育に関する考察	高 橋 結 衣
○自閉症スペクトラム児のコミュニケーション行動について	竹 橋 真 由
○父親の役割 ーこれから必要となる父親の姿ー	富 田 みのり
○幼児期における器楽活動について	中 本 有 紀
○重症心身障害児のコミュニケーション行動と効果的支援について	根 本 彩 花
○グリム童話とアンデルセン童話 ー子どもの成長における童話の役割ー	野 中 みな実
○児童が意欲的に取り組める体育実技の授業を展開するために ー鉄棒運動を中心にー	萩 原 果 歩
○学級崩壊の立て直しにおける担任教師と子どもの人間関係のあり方	橋 本 理 沙
○幼保一元化に関する認定子ども園を利用する保護者の意識と保育者に求められる支援	早 坂 睦 美
○保育者の言葉と発達の関連 ー園生活において幼児の行動に及ぼす影響ー	引 間 郁 美
○子どもに親しまれる物語 ー教訓とメディアを通してー	廣 田 茉 子
○自尊感情及び自己肯定感に関する研究 ー算数の授業を通してー	本 多 絵 理
○現代日本の子どもの間食に関する考察 ー子どもに望ましい間食の検討ー	松 井 彩 乃
○生活科における「気付き」を生かした学習指導	宮 澤 里 奈
○通級指導教室における指導と通常の学級担任との連携 ー言語障害児の指導と配慮ー	村 上 里 奈
○幼児期における「スポーツ指導」の在り方の検討	元 吉 柚 香
○不登校キャンプスタッフの学びと課題	山 口 千 尋
○現代日本の幼児の食育に関する考察 ー神奈川県川崎市立保育園の保育者と保護者を対象とした意識調査による分析からー	山 元 春 奈
○発達障害のある子どもへの支援について ーPECS を用いた支援についてー	吉 田 里 穂
○小学校教育の視点から“連携”の在り方考える	寶 田 みさき
○保育者の言葉の影響に関する研究 ーポジティブな言葉を考えるー	野 田 知 里

○幼児の「ままごと遊びの実態」と発達に関連についての研究	日野由合加
○絵本の魅力について ―ミッフィーから見る絵本の魅力―	星島千晶
○なぜ童話は子どもを魅了するのか ―＜グリム童話＞の成立と受容を中心に―	矢島琴乃
○韓国の子どもたちを取り巻く環境 ―日本のサブカルチャーの受容をめぐる―	原浅古千晴
○子どもの発達と環境の関係を遊びを通して考察する	荒井遥恵
○黄金の3日間の教育的意義 ―事務・ルール・リレーションの観点から―	有岡遙香
○子どもに寄り添う授業づくり ―特別支援教育の観点から―	市村捺乃
○子どもを伸ばす褒め方、叱り方 ―より良いしつけの方法を模索して―	稲垣香菜子
○わらべうたの研究 ―保育現場におけるわらべうたのあり方について考察―	岩淵絵理香
○2歳児の音声表現について	上野柚香
○異年齢集団における集団宿泊の行事の教育的効果	内城美里
○男性の育児参加の現状と今後の支援のあり方	内城あや
○砂場遊びを通しての人間関係づくり	大沢綾菜
○「ラプンツェル」に関する研究 ―現代に通じる魅力―	大田英里子
○「割合」の効果的な指導に関する研究 ―基準量を求める問題を中心にして―	大沼沙也加
○幼児期の数・量・図形の発達を促す効果的な教材に関する研究	大橋真瑚
○『ハイジ』の研究	小川美智子
○ディズニープリンセス物語の研究	角田愛奈
○幼児期における自然体験が与える影響	角口彩香
○乳幼児のごっこ遊びの意義と重要性についての考察	川島知香
○伝承遊びの魅力をけん玉を通して考察する	河野淳美
○子どもたちに愛されるアンパンマンの魅力	
○特別な支援を必要とする児童のいる通常学級における児童全体への適切な指導について	
―学級雰囲気と、特別な支援を必要とする児童に対する学級の仲間たちの認知の関係から―	川村美妃
○「ハリポッター」作品の研究 ―学校物語から考える学校と子どもについて―	鯨井友実
○行動的コーチングによる空手道の実践	熊谷夏美
○崩壊学級を立て直した実践事例の研究	久米すず菜
○我が国と郷土を愛する態度をはぐくむ社会科の在り方について	
―小学校社会科における「愛国心」を考える―	
○『千と千尋の神隠し』の魅力 ―子どもの心をつかむ＜不思議＞―	小暮美佳
○0歳児の発達の要因	齋藤朱莉
○保育ママの未来を考える	佐々木美希
○ピーター・パンについての研究 ―ピーター・パンの魅力―	芝田茜音
○『赤毛のアン』についての研究	東海林若奈
○“気になる子ども”の実態と援助の方法について	村主奈穂
○保育園での自由遊びにおける問題行動の減少について	高田依里
―応用行動分析を用いたABC分析より―	
○「クマのプーさん」が多くの人から愛される理由	高橋志帆
○「小学校体育中における事故と事故防止」の現状と問題点	滝内あずさ
○林明子の作品についての研究 ―林明子の魅力―	徳田真子
○中高一貫教育制度導入の目的と生徒の意識の実態	中村侑加
○実験・体験を取り入れた学習の効果に関する研究 ―算数の授業を通して―	並木悠里子
○シンデレラの魅力について	野田麻祐子
○小学校社会科における社会参加を目指す地域学習の在り方について	芳賀ありさ
―栃木県真岡市のまちづくりワークブック作成を手がかりとして―	
○現代日本の幼児の食生活に関する考察	槁本晏里
―埼玉県私立保育園における食育の取り組みを通して―	
○現代日本の遺伝子組換え作物に関する考察	長谷川華子
―次代の教育者および保護者としての児童への食育の視点から―	
○現代日本の幼児の偏食に関する考察 ―偏食を克服する調理法の実践と提案―	早野正扇
○子どもの体力向上、運動機能の向上を促す体操について	平野結唯
○運動遊びにおける保育者の関わり方	藤田万里子
○ルドルフ・シュタイナーが考える幼児教育についての考察	堀内琴絵
○自己効力感を高めるための授業づくりに関する研究 ―算数の授業において―	益田史夏
○母子家庭の現状と課題 ―よりよい支援を模索して―	松井菜美
○外国人の子どもの幼稚園生活への適応の過程	宮澤優菜
○特別支援を要する児童が在籍する通常学級における学級経営	宮下千弥
○幼児同士の人間関係をソーシャルスキルトレーニング（SST）を用いることによって育む試み	村山愛海
○小学校「外国語活動」における異文化理解教育	山内瞳
―教科書「Hi, friends! 2」の分析を通して―	
○いのちを輝かせる道徳教育 ―生と死の教育をふまえて―	吉田夏子
○マザー・グース（谷川俊太郎訳）の魅力について	渡辺真理子
	尾又翔子